資料11 詳細暫定実施計画書(案)和文

フィリピン農民参加によるマージナルランドの環境及び生産管理

壌・水管理技術の開発 中課題 1 農業資源情報システムの開発 小課題 1 農業資源特性の把握 ① 農業資源特性に関する調査と特性把握 ③ 土地資源特性に関する調査と特性把握 ④ 水資源特性に関する調査と特性把握 小課題 2 農業資源情報の解析技術の開発 ① 情報システムのフレームワークの構築 ② 情報の入力手法の確立 ④ 外部媒体との結合手法の開発 ⑤ 情報システムの精度向上化 小課題 3 農業環境情報の活用 ① 情報システムを用いたパイロット地域でのシュミレーション
 小課題 1 農業資源特性の把握 ① 農業資源情報の調査・把握手法の確立 ② 土壌資源特性に関する調査と特性把握 ④ 水資源特性に関する調査と特性把握 小課題 2 農業資源情報の解析技術の開発 ① 情報システムのフレームワークの構築 ② 情報の入力手法の確立 ③ 情報の解析手法の確立 ④ 外部媒体との結合手法の開発 ⑤ 情報システムの精度向上化 小課題 3 農業環境情報の活用 ① 情報の外部活用手法の開発 ② 情報システムを用いたパイロット地域
 小課題 1 農業資源特性の把握 ① 農業資源情報の調査・把握手法の確立 ② 土壌資源特性に関する調査と特性把握 ④ 水資源特性に関する調査と特性把握 小課題 2 農業資源情報の解析技術の開発 ① 情報システムのフレームワークの構築 ② 情報の入力手法の確立 ③ 情報の解析手法の確立 ④ 外部媒体との結合手法の開発 ⑤ 情報システムの精度向上化 小課題 3 農業環境情報の活用 ① 情報の外部活用手法の開発 ② 情報システムを用いたパイロット地域
 ① 農業資源情報の調査・把握手法の確立 ② 土壌資源特性に関する調査と特性把握 ③ 土地資源特性に関する調査と特性把握 ④ 水資源特性に関する調査と特性把握 小課題 2 農業資源情報の解析技術の開発 ① 情報システムのフレームワークの構築 ② 情報の入力手法の確立 ③ 情報の解析手法の確立 ④ 外部媒体との結合手法の開発 ⑤ 情報システムの精度向上化 小課題 3 農業環境情報の活用 ① 情報の外部活用手法の開発 ② 情報システムを用いたパイロット地域
 ① 農業資源情報の調査・把握手法の確立 ② 土壌資源特性に関する調査と特性把握 ③ 土地資源特性に関する調査と特性把握 ④ 水資源特性に関する調査と特性把握 小課題 2 農業資源情報の解析技術の開発 ① 情報システムのフレームワークの構築 ② 情報の入力手法の確立 ③ 情報の解析手法の確立 ④ 外部媒体との結合手法の開発 ⑤ 情報システムの精度向上化 小課題 3 農業環境情報の活用 ① 情報の外部活用手法の開発 ② 情報システムを用いたパイロット地域
② 土壌資源特性に関する調査と特性把握 ③ 土地資源特性に関する調査と特性把握 ④ 水資源特性に関する調査と特性把握 小課題 2 農業資源情報の解析技術の開発 ① 情報システムのフレームワークの構築 ② 情報の入力手法の確立 ③ 情報の解析手法の確立 ④ 外部媒体との結合手法の開発 ⑤ 情報システムの精度向上化 小課題 3 農業環境情報の活用 ① 情報の外部活用手法の開発 ② 情報システムを用いたパイロット地域
 ③ 土地資源特性に関する調査と特性把握 小課題 2 農業資源情報の解析技術の開発 ① 情報システムのフレームワークの構築 ② 情報の入力手法の確立 ③ 情報の解析手法の確立 ④ 外部媒体との結合手法の開発 ⑤ 情報システムの精度向上化 小課題 3 農業環境情報の活用 ① 情報の外部活用手法の開発 ② 情報システムを用いたパイロット地域
 ④ 水資源特性に関する調査と特性把握 小課題 2 農業資源情報の解析技術の開発 ① 情報システムのフレームワークの構築 ② 情報の入力手法の確立 ③ 情報の解析手法の確立 ④ 外部媒体との結合手法の開発 ⑤ 情報システムの精度向上化 小課題 3 農業環境情報の活用 ① 情報の外部活用手法の開発 ② 情報システムを用いたパイロット地域 □ <
小課題 2 農業資源情報の解析技術の開発 ① 情報システムのフレームワークの構築 ② 情報の入力手法の確立 ③ 情報の解析手法の確立 ④ 外部媒体との結合手法の開発 ⑤ 情報システムの精度向上化 小課題 3 農業環境情報の活用 ① 情報の外部活用手法の開発 ② 情報システムを用いたパイロット地域
① 情報システムのフレームワークの構築 ② 情報の入力手法の確立 ③ 情報の解析手法の確立 ④ 外部媒体との結合手法の開発 ⑤ 情報システムの精度向上化 小課題 3 農業環境情報の活用 ① 情報の外部活用手法の開発 ② 情報システムを用いたパイロット地域
① 情報システムのフレームワークの構築 ② 情報の入力手法の確立 ③ 情報の解析手法の確立 ④ 外部媒体との結合手法の開発 ⑤ 情報システムの精度向上化 小課題 3 農業環境情報の活用 ① 情報の外部活用手法の開発 ② 情報システムを用いたパイロット地域
② 情報の入力手法の確立
③ 情報の解析手法の確立 ④ 外部媒体との結合手法の開発 ⑤ 情報システムの精度向上化 小課題 3 農業環境情報の活用 ① 情報の外部活用手法の開発 ② 情報システムを用いたパイロット地域
④ 外部媒体との結合手法の開発 (5) 情報システムの精度向上化 小課題 3 農業環境情報の活用 (1) 情報の外部活用手法の開発 ② 情報システムを用いたパイロット地域 (2) 情報システムを用いたパイロット地域
⑤ 情報システムの精度向上化 小課題 3 農業環境情報の活用 ① 情報の外部活用手法の開発 ② 情報システムを用いたパイロット地域
小課題 3 農業環境情報の活用 ① 情報の外部活用手法の開発 ② 情報システムを用いたパイロット地域
① 情報の外部活用手法の開発 ② 情報システムを用いたパイロット地域
① 情報の外部活用手法の開発 ② 情報システムを用いたパイロット地域
② 情報システムを用いたパイロット地域
でのシュミレーション
1 Company to 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
③ 開発された技術の評価
(既存技術の評価を 改訂)
中課題 2 水資源管理技術の開発
中誅越 2 小員你自垤牧物以所先
小課題 1 パイロット地域の小集水域を対象とし
た水資源特性の把握と変動予測技術の
開発
(…対象とした <u>地表から浅層地下水までの</u>
水質特性…アンダーライン部カット)
① 水資源賦存及び変動特性の把握手法の
開発
② 賦存量と変動特性の把握
③ 変動予測手法の開発
小課題 2 マージナルランドに適した水資源技術
の開発
(…適した (ローコスト化技術) のカッ
コ内をカット)
① 水資源の収集技術
② 貯水技術の開発
③ 保水技術の開発

1 am uz		·		г	
小課題 3 マージナルランドに適した水資源の利					
用手法の開発			<u> </u>	 	
① 配分手法の開発			<u> </u>	 	ĺ
② 配分技術の開発				ļ	
				İ	
中部時 9 1.添加入シュニン おし嫁む女婦 1.7四枚好					
中課題 3 土壌保全システムが土壌生産性と環境特		į			
性に及ぼす影響の <u>評価</u>		ļ		İ	
(<u>アセスメント</u> を評価に変更)		l		j	
				l	·
小課題 1 土壌保全技術の導入が土壌及び水質に					
及ぼす影響の評価					
The state of the s		ļ			
(土壌保全技術の導入 <u>効果を評価する土</u>		Ì			
<u>壌及び水質指標の開発</u> を改題)	1	1	ŀ	1	
① 樹木、潅木による生け垣(Hedgrow)	1		ļ		
の導入が土壌及び水質に及ぼす影響		ļ]		
の評価				l	
(土壌侵食防止効果の評価指標の作成を					
改訂)					
1					
② 多年性植物の導入が土壌及び水質に及]	
ぼす影響の評価			ļ		
(土壌水分保持機能の評価指標の作成		}			
を改訂)	į]	
③ 透水性改善帯の導入が土壌及び水質に		1			
及ぼす影響の評価	ļ				
養分流出防止機能の評価指標の作成	1			}	İ
	ĺ				
を改訂)				<u> </u>	
小課題 2 土壌保全技術の導入が土壌及び水質に及ぼ	 _		<u> </u>		
す影響の評価		1			İ
(アセスメントを評価に変更)			ļ		
① 作物収量に及ぼす土壌保全技術の評価			•	1	
(被覆作物の導入を改訂)					
			ļ	1	•
② 養分吸収、損失に及ぼす土壌保全技術の評					
価					
<u>(等高線状ファーミングの導入、アグロフォ</u>			1		
レストリー を改訂別案に近い)					
小課題3は小課題2に含まれる					
1 have a 10.1 have a 10 H granns					
中課題 4 マージナル土壌の <u>環境保全的</u> 生産力の改					
善善善					
(<u>マージナル土壌の肥沃度の改善</u> を改題					
環境的を挿入)					
	L	L	L	L	

』、三田 日百	1 マージナル土壌における効率的施肥法	
小課題	の開発 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
	1,1,7,0	
	(マージナル土壌における物質循環の環境	
	<u>容量内でのバランスのとれた</u> 施肥法の開	
	発を改題)	
	マージナル土壌の作物生産制限因子の解明	
	(…のための調査 をカット)	
2	無機化過程を含めた養分動態	
	(… <u>循環に関する研究</u> を動態に変更)	
3	マージナル土壌での低コスト有気質・無機	
	質資材の利用	
	(…の <u>併用</u> を利用に変更)	
 小課題	2 マージナル土壌の肥沃土の改良	
小麻憩	(マージナル土壌の圧炭土の以及 で改 (マージナル土壌の生産力の改良 を改	
	(マーン)ル工壌の生産力の以及 で以 類)	
	① 作付け体系による肥沃度の改善	
	(生物物理資材(もみがら)による土壌	
	肥沃度の改良を改訂	
	② 共生を利用した作物栽培技術の開発	
	S XII EANN ON PROMACION OF THE	
}		
│ 大課題Ⅱ ጏ	上壌・水管理技術を実証する農民参加型テク	
	ノ・デモファームの設立	
中課題	台地、丘陵地及び高地に位置するマージ	
	ナルランドにおけるテクノデモファーム	
	の立案・企画	
	(台地、丘陵地、高地に位置するマージナ	
	ルランドにおける <u>適正な土壌・水管理技</u>	
	<u>術の実証活動</u> の立案・企画 を改題)	
小課題	1 テクノ・デモファームの活動計画の立	
	案(実証準備委員会、運営委員会の組	
	織化、農民グループ、地方農業事務	
	所、その他関連機関との連携体制の確	
	立を含む) 旧小課題3、「農民グ	
	ループ、地方農業事務所、その他関連	
	機関との連携体制の確立」をここに含	
	める	
r =m ===	0 K 19 / 10 1 11 / 1 M Had. 1 Km 1.	
小課題	2 各パイロットサイトの植生、土壌、水	
İ	資源等の実態調査	

小課題	3 在来農家技術の調査と市場調査 (旧小課題3の代わりに本課題を挿入)			
中課題 2	台地、丘陵地、及び高地に位置するマー ジナルランドにおける適正土壌・水管理 技術のデモファームへの導入			
①; ②.	開発された土壌・水管理の導入 水管理技術の導入 土壌保全技術の導入 土壌 <u>生産性</u> 改善技術の導入 (肥沃度を生産性と改訂)			
	 農業技術の総合化 社会経済的視点からの<u>評価</u> (社会経済特性に関する<u>調査と特性把握</u> を改訂) 病虫害を考慮した作付け体系の開発 販売戦略などを考慮した作物などの選定 			
(3 協力農家に対する技術研修の実施① 協力農家に対する技術セミナーの開催② 協力農家への巡回指導			
	4 技術展示効果のモニタリングと評価 ① 効果的な展示手法の導入 ② 展示効果の評価			

資料12 フィリピン側からの供与要請機材リスト

1.ブキドノンセンター

要求順位	査定	機材名	数量	単価	計	年次、備考
1	A	Atomic absorption	各 1	以下同じ		初年度
2	Α	Spectrophotometer				以下同じ
3	A	Water distilling appar	atus			
4	Λ	Analytical balance				
5	A	Beam balance				
6	A	Fume hood				
7	Α	Nitrogen digestion ble	ocks			
8	A	Nitrogen distillation i	ınit			
9	?	Milli-Q Water ultra-	ourifier			
10	A	Biological refrigerato	r			
11	?	Dessicator				
12	?	Refrigerator				現地調達
13	A	3 phase meter				
14	Α	Penetrometer				
15	A	Tensionmeter				
16	A	Laboratory oven				
17	Α	Shaker				
18	?	Soil grinder				
20	A	Plant tissue grinder	(Wiley)			
21	Α	Hand tractor				
22	?	Grass cutter				
23	Α	Sieve (small,mediur	n,large)			
24	?	Powersprayer				
25	A	Plant chopper				
26	Α	Lysimeter (別紙部	計)(ブキ	ドノンに試験	的に設	置してみる)
27	\mathbf{A}	Trencher				
28	Α	Tractor (4 WD) with	disk plow,	harrow, rotova	ror and	loader
29	A	Vehicle				現地調達
30	Α	Moter bycicle	盗難の対策	必要		現地調達
31	A	pH meter				
32	A	EC meter				

現地調達するのは部品の補充ができるため 2は BSWM で調達可能と思われる 車については小型バスの要望も強い

2. 土壌保全

要求順位	査定	機材名	数量	年次、備考
1	?	Vēhicle	4	プラカンでの必要性あり、現地調達
2	?	Solar generator		タナイの補助電力(国の配電が無い)
3	?	Lysimeter	2	ブキドノンの試作をみて次年度以降検討
4	不	Hand tractor	3	タナイ、ブラカンはすでに導入済み
5	不	Pump with engine	3	水資源で要求
6	Α	Trencher	2	デモサイトで必要
7	不	Tractor	1	プキドノン以外は導人済み
8	A	Silage cutter	1	プラカンに 1 台

土壌保全 計 約754万ペソ

3.水資源

1	?	TDR	18	2年次
2	Α	Ground water table elevation indicator		
3	?	Sand density apparatus		
4	A	Pump and engine (各サイト1台でよいのでは) 6	2年次
5	A	Automatic rain gage 同上	6	初年次
6	?	Data logger/ automatic stream flow recorder	3	初年次
7	?	Geo-resistivity apparatus	1	初年次
8	A	Water quality checker	3	初年次
9	A	Apparatus for collecting rainfall		
10	?	PF test unit		
11	?	Power auger and sampler		

4. Laboratory (肥沃度関連)

1	不	Atomoc absorption spectrophotometer	3
2	不	auto- analyzer	1
3	不	pH meter	3
4	不	Spectrophotometer	2
5	Α	Distilling apparatus	5(台数は減らすこと)
6	不	Soil grinder	2
7	不	Hume hood	3
3	?	Shaker ,horizontal	2
9	不	Analytical balance, Mettler	3
10	A	Top loading balance	3 (台数を減らす)
11	Α	EC meter	2
12	不	Biological refrigerator, 10cu,ft.	2

ほとんど既に供与してあり、特に消耗の激しい機材のみ考慮してよい

